

## 定住自立圏構想における基本問題検討ワーキンググループ（第2回）

### 要旨

#### 【開催日時等】

○開催日時：平成28年2月9日（火）16：00～18：20

○場 所：経済産業省別館310共用会議室

○出席者：辻座長、伊藤委員、梶井委員、高田委員、牧野委員、

原田地域力創造審議官、黒瀬地域自立応援課長、海老原市町村課長

#### 【主な意見等】 ○：委員 ●：ヒアリング対象団体

##### ●（岩手県から資料に沿って説明）

提案された主な要件：近接する市町村を管轄する官公庁の数5以上

○ 官公庁の所在ということのを要件として挙げられたが、従来の人口要件等とは相容れないが、どのような考えか。

● 官公署の数について、官公署というのは、国や県がエリアを考えて配置を決めるものであるため、利便性や中心性を考えて配置した結果だと考えている。

○ 例えば医療に関しても、花巻・北上の間に中核的な病院ができたのであれば、これを1つの圏域としてつくったほうが、より効果的ではないか。

○ 花巻と北上というのは、関係は非常に強く、データとしても出ている。それを無理矢理関係がないと言うことに無理があるのではないか。

○ 定住自立圏というのは、住民生活を基本に考えている。住民がどういうふうに動いているかという点に立脚した要件を示すことはできないか。

##### ●（山形県から資料に沿って説明）

提案された主な要件：人口おおむね3万以上

昼夜間人口比率おおむね1以上

○ 中心的な自治体とその近隣市町村による連携がまさに定住自立圏のコンセプトであるが、その辺りが見えない。

○ 例えば、寒河江市の方では、山形市に人の流れが引っ張られて「0.99」

になっているが、分析の結果、今の要件で考慮されていない視点があるならば示して頂きたい。

- 今の基準を満たさないところがあるという説明であったが、山形県内のこの地域であれば、ほかにない特殊性があるので、こういう要件が考えられないかという具体的な提案はないか。

- (北海道から資料に沿って説明)

提案された主な要件：人口2万人以上

近隣の2つの市の総人口が3万人以上

昼夜間人口比率をおおむね1以上

中心市に町を追加

- 考え方をここまで大幅に変えるというのは、特例という枠を越えている。北海道に合わせるために、要件を変えていくということは考えられないのではないか。
- 北海道の特殊性が出過ぎているという点は我々も感じているが、北海道では小さな町でも圏域の中心として機能している。
- ここだけは今の定住自立圏の中心市に匹敵するようなものがあるといった点はあるのか。
- 振興局所在地というのが行政的にも中心地という役割があり、中心地である。
- 今回提案された要件に当てはまる市町で、中心市あるいは中心市になり得る市の隣に所在する場合、本来は、隣の市町と組んでやるべきではないか。